

別添資料 3

指定管理者自主事業実施基準

（目 的）

第 1 この基準は、指定管理者が管理する施設を活用して行う自主事業について、市が承認する基準その他の取扱いについて定めるものである。

（定 義）

第 2 この基準における自主事業とは、次に掲げるものとする。

（１）鞍ヶ池公園民間活力導入事業指定管理業務要求水準書（以下「要求水準書」という）に自主事業として実施することが定められている事業

（２）要求水準書に具体的定めがなく、指定管理者が自らの企画により行う事業

（事前協議）

第 3 指定管理者が自主事業を行うに当たっては、その事業内容、収支計画及び参加料等を明らかにした上で、事前に市の承認を得なければならない。

（承認基準）

第 4 指定管理者が行う自主事業は、その事業の性質に応じて、以下のすべての項目に適合することを条件に承認するものとする。

（１）事業日程が一般利用者の施設利用を著しく阻害しない範囲であること

（２）事業規模が施設許容量に照らして適当であること

（３）対象者の設定に公平性が認められること

（４）民間事業に多大な影響を及ぼす（圧迫する）懸念がないこと

（５）事業実施に関する安全性及び補償体制が担保されていること

（６）事業内容が公序良俗に反しないものであること

（７）指定管理料で当該経費を支出しないものであること

（８）その他一般利用者の視点で疑義が生じない内容であること

（使用料等）

第 5 指定管理者が自主事業のために、施設の部屋、区画等を使用又は占用する場合には、必要な許可を受けるほか、市に対し、条例で定められた使用料又は占用料を支払うものとする。

（実施報告）

第 6 指定管理者が自主事業を実施した場合は、参加者の状況、事業成果及び経理状況等を市に報告しなければならない。

（委任）

第 7 この基準に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定めるものとする。